

平成 20 年 10 月 1 日
日本銀行旭川事務所

金融経済概況

．全体感

道北地域の景気は、やや厳しい状況にある。

すなわち、公共投資は低調に推移しているほか、住宅投資は緩やかな持ち直し傾向にあるものの、引続き弱めの動きとなっている。こうした中で、ここへきて個人消費がやや厳しい状況となってきているほか、設備投資は低迷している。加えて、雇用環境は一段と厳しさを増している。

金融面では、預金が引続き堅調なほか、貸出は前年をやや上回る水準で推移している。貸出約定平均金利は横ばい圏内で推移している。

この間、企業の業況感は、非製造業を中心に一段と慎重化している。

．実体経済

1．最終需要項目別動向

(1) **個人消費：やや厳しい状況にある。**

平成 20 年 8 月の百貨店・スーパー等主要大型店の売上高は、節約志向の高まりを背景として、衣料品、身の回り品を中心に低調な動きとなっており、前年同月を下回った（前年比＜同旭川地区＞： 11.6%＜ 5.9%＞、20/4～6月 12.6%＜ 6.0%＞）。

家電販売は、薄型テレビを中心に底堅い売れ行きが続いている。

8 月の新車登録台数（含む軽乗用車）は、乗用車が前年同月を下回ったほか、貨物車も大幅な減少となったことから、全体でも前年同月を大幅に下回った（前年比： 25.2%、20/4～6月 7.3%）。

8 月の貨物輸送量は、青果物等の道外輸送が好調だったものの、紙パルプや水産物の輸送減、公共工事の減少等から引続き前年同月を下回る水準で推移している（前年比： 4.6%、20/4～6月 9.1%）。

8月の空港（旭川、稚内、女満別、紋別）利用客数は、稚内・女満別・紋別空港で前年同月を下回ったものの、旭川空港で新規就航便の好影響および国際チャーター便の利用客増から前年同月を上回ったため、全体では前年同月を若干上回った（前年比：+2.3%＜旭川空港+9.9%＞、20/4～6月+2.8%＜同+8.0%＞）。

8月の電力消費量は、産業用は前年同月を若干下回ったものの、民生用が若干上回ったため、全体では前年同月並みとなった（前年比：+0.7%、20/4～6月 2.9%）。

(2) 公共投資：低調に推移している。

8月の公共工事請負金額（上川・宗谷・網走支庁管内）は、宗谷・網走支庁管内で前年同月を上回ったが、上川支庁管内で前年同月を4割弱下回ったため、全体では前年同月を大幅に下回った（前年比：15.7%）。直前3カ月の推移を均してみても前年同期を2割弱下回っている（20/4～6月18.1%）ほか、国および道の発注工事の進捗率は前年同期を下回っている。

(3) 設備投資：低迷している。

道北地域の「企業短期経済観測調査」（9月調査）における20年度の設備投資計画をみると、上期実績見込みで2割弱の上方修正となったものの、前年同期実績との対比では4割の減少、下期計画では1割の下方修正となった結果、前年度同期実績対比でみて7割減となる見込みである。

(4) 住宅投資：弱めの動きとなっている。

8月の主要4市（旭川、北見、稚内、網走）の建築確認申請（床面積）は、旭川・北見・稚内市で前年同月を大幅に上回り、全体でも前年同月を上回った（前年比：+46.4%＜旭川市+49.4%＞、20/4～6月 3.2%＜同 15.9%＞）。内訳をみると、居住用は前年同月を若干上回ったほか、非居住用では、前年同月との対比で3.2倍の増加となった。もっとも、全体として改正建築基準法施行前の水準まで回復するには至っていない。

2. 業種別動向

(第一次産業)

農作物の生育状況 (9 月 15 日時点) をみると、水稻は平年並みに生育し、一部地域では収穫作業が始まったほか、畑作 (馬鈴しょ、玉ねぎ) も収穫作業は、平年並みに進んでいる。

8 月のオホーツク漁業 (稚内、枝幸、網走、紋別) をみると、ホッケは好調だったものの、スケソウ、カレイ、ホタテが低調だったことから、水揚げ数量、金額ともに前年同月を下回った (数量前年比： 19.3%、金額前年比： 21.3%、20/4 ~ 6 月数量前年比： + 23.0%、金額前年比： + 26.4%)。

8 月の生乳出荷量は、前年同月を上回る水準が続いている (前年比： + 3.4%、20/4 ~ 6 月 + 3.1%)。

(製造業)

8 月の製材出荷量 (速報値) は、針葉樹、広葉樹共に道外向けが落ち込んだことから、全体でも前年同月を下回った (前年比： 2.9%、20/4 ~ 6 月 3.4%)。

普通合板の出荷量は、前月に引続き道外向け・道内向け共に増加したことから前年同月を大幅に上回った (20/7 月出荷量前年比： + 57.6%、20/4 ~ 6 月 + 33.7%)。

紙・パルプの出荷量は、針葉樹パルプシートや雑種紙は好調だったものの、印刷用紙を中心にその他の用紙が低調であったため、全体では前年を下回った。

電子部品関連では、振れを伴いつつも生産の増勢が鈍化している。

3. 雇用・倒産動向

8 月の常用新規求人数 (旭川、稚内、北見、網走) は、全体として前年同月を大幅に下回った (4 地区合計前年比： 24.7% < 旭川地区 21.1% >、20/4 ~ 6 月 10.8% < 同 8.8% >)。

8 月の有効求人倍率 (常用) は、網走地区では前年同月並みとなったが、それ以外の全ての地区で前年同月を下回った。

雇用環境は一段と厳しさを増している。

8月の倒産件数は12件、負債総額は15億円となった。販売不振に加え原油高騰を受けて、運送業、土木工事業、建設業やフィットネスクラブの倒産がみられ、小口多発傾向となった(20/4~6月中件数:30件<前年同期比:1.5倍>、同負債総額:67億円<前年同期比:45.6%>)。

・金融動向

8月末の金融機関預金残高は、個人預金を中心に堅調な動きが続いている(表面預金残高前年比:+5.8%、前月比+0.7%)。

8月末の金融機関貸出残高は、前年同月末をやや上回る水準で推移している(貸出残高前年比:+2.6%、前月比+0.3%)。

8月末の旭川市内金融機関の貸出約定平均金利(総合)は、横ばい圏内で推移している(2.315%、前月比:+0.006%ポイント)。

8月に日本銀行が管内で払出した銀行券は80億円と前年同月(84億円)を下回ったものの、受入れた銀行券(127億円)が前年同月(157億円)をさらに下回ったため、受超額(47億円)は前年同月(74億円)比大幅に減少した。9月の払出しは90億円(前年同月71億円)、受入れは141億円(同120億円)となった結果、受超額は52億円となった(前年同月は50億円の受超)。

以 上

< 本件に関するお問合せ先 >

日本銀行旭川事務所 電話 0166 - 23 - 3181

ホームページ <http://www3.boj.or.jp/asahikawa/>

道北主要経済指標

道北：上川、宗谷、網走支庁管内、P=速報値 r=修正値

		数量・金額 20/8月 (合板は20/7月)	前年同月(期)比(%)				備 考 (資料出所等)
			20/1~3	20/4~6	20/7	20/8	
漁業水揚	数量(千トン)	25	3.9	23.0	12.2	19.3	稚内・紋別・網走・枝幸港
	金額(百万円)	3,178	19.6	26.4	13.0	21.3	
生乳	出荷(トン)	86,346	3.9	3.1	3.1	3.4	ホクレン旭川・稚内・北見支所
製材	生産(千m ³)	P		r	P	P	上川・網走支庁 林務課
		39	5.0	5.7	7.0	7.8	
		うち針葉樹	37	5.1	5.5	6.2	
	広葉樹	3	4.2	8.2	17.1	16.5	
	出荷(千m ³)	P		r	P	P	
		41	6.4	3.4	7.3	2.9	
うち針葉樹		38	6.3	3.0	3.1	3.2	
広葉樹	3	7.1	8.2	43.4	1.1		
在庫(千m ³)	P	41	¹ r	² P	P	6.2	
合板	生産(千m ²)	5,288	18.5	21.5	28.4	n.a.	
	出荷(千m ²)	5,748	23.6	33.7	57.6	n.a.	
	在庫(千m ²)	7,581	¹ 35.7	² 10.1	1.5	n.a.	
建設	公共工事請負額(百万円)	14,297	17.4	18.1	10.3	15.7	北海道建設業 信用保証(株)
	うち上川	6,124	0.6	15.8	7.9	38.3	
	宗谷	3,239	2.4	35.3	41.5	4.7	
	網走	4,934	31.9	13.3	15.5	25.7	
	確認申請床面積(千m ²)	³ 44	18.4	3.2	40.3	46.4	旭川・稚内・網走・北見市
うち旭川	30	0.8	15.9	48.9	49.4		
確認申請住宅戸数(戸)	³ 236	7.7	24.1	33.3	61.6	旭川市	
消費	大型店売上高(百万円)	5,407	11.2	12.6	12.8	11.6	日本銀行旭川事務所
	新車登録台数(台)	1,871	3.2	7.3	4.7	25.2	自販連
	うち乗用車	1,629	1.0	3.3	8.0	12.7	旭川・北見支部
	空港旅客数(人)	298,245	5.0	2.8	0.6	2.3	旭川・稚内・女満別・紋別空港
貨物	貨物輸送量(千トン)	692	5.3	9.1	8.0	4.6	日本銀行旭川事務所
電力	電力消費量(千KWH)	444,047	3.9	2.9	1.5	0.7	北海道電力

注) 数量・金額の合計は四捨五入の関係上一致しないことがある

1 20/3月末前年同月比

2 20/6月末前年同月比

3 稚内は確認申請ベース。北見・網走は確認処理済ベース。旭川は19/3月までは確認申請ベース、19/4月以降は確認処理済ベース。

		数量・金額 20/8月	前年同月（期）比（％）				備 考 （資料出所等）	
			20/1～3	20/4～6	20/7	20/8		
雇 用	常用新規求人数（人）	2,426	3.9	10.8	4.4	24.7	旭川・稚内・北見・網走公共職業安定所	
	旭川	1,406	1.0	8.8	6.3	21.1		
	稚内	151	1.5	16.0	24.4	20.9		
	北見・網走合計	869	9.0	19.3	4.4	30.5		
倒 産	件数（件）	12	2.0倍	50.0	5.3倍	3.0倍	帝国データバンク 旭川・北見支店	
	金額（百万円）	1,453	8.9倍	45.6	53.9倍	0.2		
金 融	手形交換高(百万円)	48,499	4.9	10.4	9.7	19.7	札幌銀行協会	
	取引停止処分（枚）	14	83.3	2.7倍	9.1	54.8		
	管内店舗表面預金 （未残、億円）	33,064	4.3	5.1	5.4	5.8	日本銀行旭川事務所	
	管内店舗貸出金 （未残、億円）	14,955	1.9	1.8	2.4	2.6		
	旭川市内銀行等貸出約定平均金利（％）	総合	2.315	3 (0.005)	4 (0.006)	5 0.004		5 0.006
		短期	2.104	2.118 (0.068)	2.122 (0.010)	0.024		0.006
		長期	2.404	2.385 (0.027)	2.392 (0.003)	0.006		0.006
	銀行券受入高(百万円)	12,692 20/ 9月：14,141	8.1	10.3	13.1	19.2		
	払出高(百万円)	7,967 20/ 9月：8,971	3.3	5.9	15.6	4.8		

- 1 20/3月末前年同月比
2 20/6月末前年同月比
3 20/3月末金利水準、（ ）内は前月比増減（ ）ポイント
4 20/6月末金利水準、（ ）内は前月比増減（ ）ポイント
5 前月比増減（ ）ポイント

○有効求人倍率（常用）

（ ）内は前年

年/月	旭 川		稚 内		北 見		網 走	
		倍		倍		倍		倍
19/	9	0.53 (0.53)	0.56 (0.66)	0.68 (0.60)	0.60 (0.63)			
	10	0.52 (0.50)	0.57 (0.61)	0.71 (0.59)	0.60 (0.59)			
	11	0.46 (0.48)	0.50 (0.57)	0.68 (0.59)	0.57 (0.59)			
	12	0.41 (0.45)	0.45 (0.66)	0.65 (0.57)	0.57 (0.60)			
20/	1	0.43 (0.45)	0.42 (0.62)	0.64 (0.54)	0.55 (0.63)			
	2	0.47 (0.48)	0.55 (0.55)	0.62 (0.61)	0.53 (0.70)			
	3	0.50 (0.48)	0.60 (0.51)	0.53 (0.62)	0.55 (0.67)			
	4	0.44 (0.43)	0.53 (0.49)	0.47 (0.54)	0.48 (0.62)			
	5	0.42 (0.42)	0.60 (0.50)	0.44 (0.57)	0.45 (0.59)			
	6	0.41 (0.45)	0.65 (0.53)	0.45 (0.56)	0.52 (0.69)			
	7	0.41 (0.47)	0.66 (0.58)	0.46 (0.57)	0.60 (0.62)			
	8	0.41 (0.50)	0.57 (0.61)	0.48 (0.62)	0.65 (0.65)			

公共職業安定所調べ